

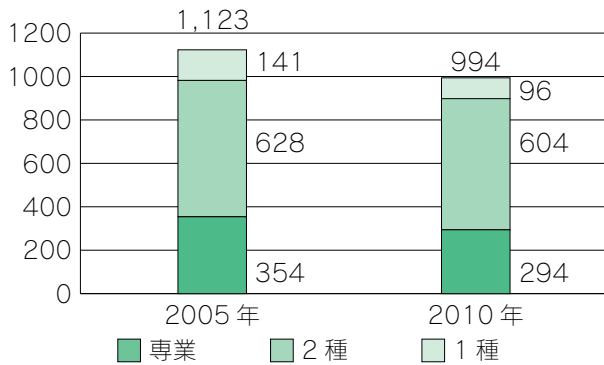
2010年農林業センサスの調査結果（概要）

2010年農林業センサスの調査結果が、平成23年3月に農林水産省から発表されましたので、札幌市関係分について抜粋してお知らせいたします。

農林業センサスは、国の農業の生産構造や就業構造、地域農業の実態等を明らかにするため、5年ごとに行われております。

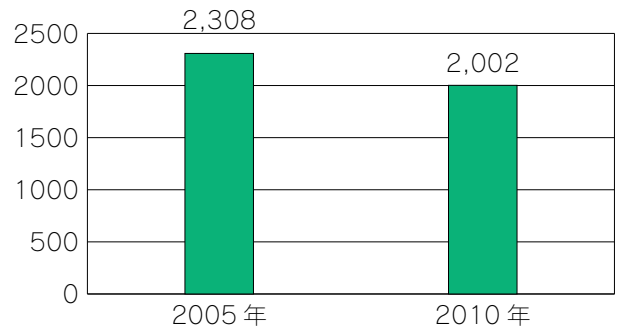
農家戸数（戸）

- 札幌市の農家戸数は994戸と、前回センサスに比べ、129戸、12%減少し、減少傾向が続いています。



耕地面積（ha）

- 札幌市の経営耕地面積は2,002haで、前回センサスに比べ、306ha、13%減少しました。



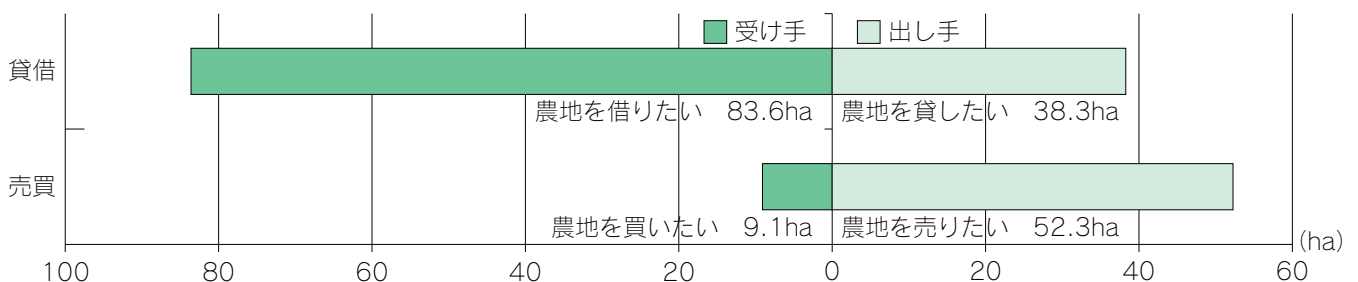
農地の利用及び農業経営に関する調査結果（概要）

また、札幌市でも、平成22年12月から平成23年2月にかけて、「農地の利用及び農業経営に関する調査」としてみなさまに今後の農地活用の意向等についてお聞きしておりました。その調査結果について、お知らせいたします。調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

調査対象：農地基本台帳に登録され、札幌市内、市外に農地を所有する世帯 2,290戸
 回答数：1,256戸（回収率54.8%）

【農地の貸借、売買の意向】

- 借りたい農地面積に対し、貸したい農地面積は半数以下であり、また、売りたいとする面積に対して、買いたいとする面積は極めて少ないなど、農地の受け手と出し手の意向に大きな差がありました。
- 各区別でも、この傾向は同様でした。



この調査結果は、農業委員会が管理する農地基本台帳の更新に使用するとともに、今後の農業施策の検討資料とさせていただきます。

なお、農地の貸借について、新たに農地の利用集積を進める事業を実施することとしており、詳細が決まりましたら、北の大地やホームページ等でお知らせいたします。

問い合わせ先

札幌市農政部調査企画担当課

Tel.211-2406